

計測会の役員になりました

F55 野村 正裕

S55 年(1980 年)計測工学科卒業の野村です。昨年(2021 年)2 月に計測会役員会のメンバーに加えていただきましたので、この稿をお借りして自己紹介と近況報告をさせていただきます。

学生時代は、オーケストラ(通称オケ)に所属しコントラバスを弾いていました。他校の演奏会にもエキストラとしても活躍(?)し(名市大、愛教大、愛知学院の常トラ)、案の定、学業の方は疎かになっていました。

4 年生になり制御研に入った時、戸苅吉孝先生から「お前、こんな成績で卒業できるのか」といきなりいわれましたが、「オケやってるのか！じゃあしょうがないな。」と意外にも寛大なお言葉。先生は合唱団 OB だったこともあり、オケの活動には御寛容のようでした。

研究室では「マイコンをやれ」となり、NEC の TK80 という 8bit マイコンのキットを組み立て、アセンブラ言語で PID 制御のプログラムを書いて動作させました。アセンブラ言語からマニュアルでバイナリーコードに変換し、テンキーから打ち込んで動作させたところ、先生から「よくやったな～でも FORTRAN のコンパイラもあったのに」と言われました。「それ、早く言ってよ！」とは、さすがに言い返せませんでした。就職してからは一貫してマイコンを使った組み込みシステム開発を行うことになったので、先生には感謝しております。

卒業後、横浜の NEC 系の会社に入社して、通信システム、画像処理システムの開発に従事。1990 年に松下電器系の設計開発会社へ転職し、名古屋へ U ターンしました。そこでは、主にネットワーク機器やデジタルネット家電向けのソフトウェア開発に従事し、家電のデジタル化の最前線での仕事に関わることができました。その後、家電事業が厳しくなり、「次はクルマだ。モデルベース開発だ。機能安全だ。」と盛り上がりつつあるときに、私は次のステージを目指して、現在も勤務している(株)エルテックに 57 歳で転職しました。

エルテックは、本社が兵庫県伊丹市で社員数 70 名程度。ベンチマーク(他社製品の調査)を目的とした半導体や電子機器の分解・解析(いわゆるリバースエンジニアリング)や特許・論文調査を行っている、少し変わった業態の会社です。小生は名古屋の自宅で、東海地区担当営業として在宅勤務しています。(名古屋に事務所が無いので、コロナとは無関係です)新規顧客開拓がミッションで、最初の 2 年ぐらいは飛び込み営業が中心で、顧客になりそうな会社の代表ナンバーに電話をかけまくって訪問アポをとり、説明に行きました。ちょうどクルマの電動化や自動運転(運転支援)が盛り上がってきた時だったのと、東海地区にもトヨタやデンソーのように内部に半導体部門を持つ会社があったので、徐々に依頼案件が増え、コロナ禍で顧客訪問ができなくなった昨今でも、それなりに注文をいただけるまでになりました。

私は昨年 65 歳になりましたが、エルテックには年齢制限は無く(たぶん)、使いものになると判断されれば 70 過ぎても雇ってくれるようです。逆に、使いものにならないければ即クビですが。

伊丹本社にも、パナソニック、シャープの半導体部門の OB が数名ですが、技術スペシャリストとして活躍しています。

私が接しているお客様は係長クラスの技術者(年齢的には息子と同じぐらい)が中心で、旬な技術や業界の会話をしながら御要望を引き出しています。そのため、顧客の中期計画や業界動向、技術動向を日々ウォッチしていますが、半分趣味のように楽しみながらやっています。

最近、特に中国・欧州の EV 車搭載部品の調査・解析依頼が増えています。EV 化を新規事業のチャンスと捉える会社もあれば、事業ポートフォリオの変更を迫られ危機感を持つ会社もあるように感じています。

さて、計測会ですが、一昨年、現会長の寺倉さんのお誘いで、参画させていただきました。それまでは、計測会とはほとんど関わりが無かったことを考えれば、大半の卒業生の方々も同様と思いますが、少しでも多くの方に楽しんでいただければと、役員の方々と知恵を絞っております。

昨年 12 月に計測会ホームページを立ち上げましたので、これをうまく活用して、学生さんも含めて世代間の交流ができないかと考えています。

その一環として、会員の皆さんから気軽に近況報告を寄稿していただけるようにと思い、まずは、役員の方々の自己紹介を兼ねた近況報告を載せていく予定です。

会員の皆さんからの寄稿もお待ちしておりますので、宜しくお願い致します。